

7月4日（火）に平成29年度の交通安全教室を実施しました。今年度は、小樽自動車学校に全面的なご協力をいただき、自動車学校での体験学習を含む内容で実施することができました。

まず最初に、小樽自動車学校の藤川貴幸先生から「運転者の心得」「夜間の危険性について」の講義をしていただきました。その後「シートベルトの重要性」を理解するために、コンビンサーという装置を使っの衝撃体験、実車による急ブレーキ体験をさせていただきました。コンビンサーでは、時速7kmでありながら大きな衝撃があることを知り生徒も大変驚いていました。急ブレーキ体験は、時速10kmと30kmの2回行っていただきましたが、タイヤの鳴る音が響き渡るほどであり、シートベルトをしていなければ大きな事故につながることを実感している様子でした。さらに、ヘッドライトの視認識性や蒸発現象などを学ぶことができました。

コンビンサー装置。見た目はそれほどでもないけれど、衝撃は結構大きかったです。



講習終了時には、生徒会長の紅露君が交通安全宣言を行い、事故を起こさない、遭わない決意が述べられました。また、小樽自動車学校より終了認定証が代表の長谷川さんに授与されて教室が終了しました。生徒は、帰校後のLHRで交通安全教室で学んだ内容をレポートにまとめ、交通安全の意識を高めたようでした。

小樽自動車学校の佐藤学校長をはじめとする職員の皆様、ありがとうございました。



講義と体験学習を終えて、閉講式では、交通安全宣言に続いて修了証書が授与されました。